

小金井市新庁舎・（仮称）新福祉会館建設
基本設計業務委託
公募型プロポーザル

選考結果報告書（案）

平成31年〇月

小金井市新庁舎・（仮称）新福祉会館建設基本設計業務
委託事業者選考等委員会

1 本プロポーザルの概要

(1) 趣旨

小金井市では、小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設基本設計において、小金井市新庁舎建設基本計画、（仮称）小金井市新福祉社会館建設基本計画及び小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館複合化整備方針等の理念の実現に向け、高度な技術力及び豊富な経験等を有する設計者を選考することとしました。

そのため、基本設計委託事業者の選考に当たっては、小金井市の特性を的確に捉えた技術提案を求めるとともに、取組体制、実績、技術力等を総合的に評価することで、優れた「設計者（人）」を選考する「公募型プロポーザル方式」を採用しました。

(2) 小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設基本設計業務委託事業者選考等委員会

平成30年12月に「小金井市新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設基本設計業務委託事業者選考等委員会（以下「選考等委員会」という。）」を設置し、市長から委嘱又は任命を受けた次の7人の委員により選考を行いました。

	氏名	所属・役職
委員長	卯月 盛夫	早稲田大学 社会科学部 教授
委員	金子 和夫	ルーテル学院大学 人間福祉心理学科 教授
委員	河上 牧子	明治大学 地域ガバナンス研究所 客員研究員
委員	水谷 俊博	武蔵野大学 建築デザイン学科 教授
委員	宮下 清栄	法政大学 都市環境デザイン工学科 教授
委員	山家 京子	神奈川大学 建築学科 教授
委員	小泉 雅裕	小金井市副市長

(3) 選考等スケジュール

	内 容	日 時
一次選考	実施要領等の配布	平成31年1月11日（金）
	参加表明書の提出	平成31年1月22日（火）まで
	質問書の受付期間	平成31年1月22日（火）まで
	質問書の回答	平成31年1月30日（水）
	選考書類の受付期限	平成31年2月19日（火）まで
	一次選考	平成31年3月2日（土）
	一次選考結果の通知	平成31年3月4日（月）
二次選考	公開プレゼンテーション・ヒアリング	平成31年3月16日（土）
	二次選考結果の通知	平成31年3月18日（月）
	契約締結日（予定）	平成31年3月末

(4) 選考等委員会の概要

① 第1回選考等委員会

ア 日時 平成30年12月26日（水）午前9時30分から午前12時まで

イ 出席委員 7人

ウ 主な議題

- ・委員長の互選及び職務代理者の指名
- ・設計者選考基本方針について
- ・プロポーザル実施要領等について

② 第2回選考等委員会

ア 日程 平成31年3月2日（土）午後1時25分から午後4時25分まで

イ 出席委員 6人

ウ 主な議題

- ・一次選考について
一次選考を行い、5者を一次選考通過者としました。
- ・二次選考について
二次選考の方法について審議しました。

③ 第3回選考等委員会

ア 日程 平成31年3月16日（土）午前10時から午後5時まで

イ 出席委員 7人

ウ 主な議題

- ・二次選考について
二次選考を行い、事業候補者及び事業候補次点者を決定しました。
- ・選考結果報告について
選考結果報告の内容について協議しました。

2 設計者選考基本方針の概略

(1) 基本設計者選考に関する基本的な考え方

基本的な考え方を次のとおり定めました。

① 競争性、透明性のある方法で設計者を選考

ア 幅広い設計者の中から本市に最適な設計者を選考するため、単体企業だけでなく、共同企業体での応募を認めるなど、参加資格を工夫する。

イ 選考過程の透明性確保とあわせ、設計する『人・組織』の能力を評価し、柔軟な対応力を持つ設計者を選考するため、公開プレゼンテーションを実施する。

② 本事業に有効な高い能力を持つ優れた設計者を選考

ア 清掃関連施設の撤去後までを見通した庁舎建設予定地全体の整備完了イメージを描き、新庁舎建設基本計画、（仮称）新福祉会館建設基本計画等の理念を具体化する優れた建築計画力、デザイン力、技術提案力及び業務遂行力を持つ設計者を選考する。

イ 新庁舎及び（仮称）新福祉会館が有する各種機能を有機的かつ合理的に整理する実行力を持つ設計者を選考する。

ウ 市民との合意形成力及び庁内外の意思決定に必要な的確な判断材料を提供できる高い能力を持つ設計者を選考する。

エ 早期竣工、費用縮減等を実現できる技術提案力を持つ設計者を選考する。

(2) 参加表明者及び配置予定技術者の参加資格

ア 参加表明者の企業形態について

広く応募者を募る考えから、単体企業に限定せず、設計共同企業体での応募も可能としました。

イ 参加表明者に参加資格として求める設計業務実績

参加表明者の参加資格は、6,000㎡以上の公共施設における設計実績がある者としてしました。

ウ 管理技術者及び各主任担当技術者に参加資格として求める設計業務実績

配置予定技術者は、民間施設も含め、6,000㎡以上の設計実績がある者としてしました。

(3) 技術提案書について

技術提案テーマ及び配点は次のとおりとしました。

技術提案テーマ	一次選考配点	二次選考配点
業務取組方針	10点	15点
土地利用計画、建築計画及び施工計画に関する考え方		20点
複合施設としての機能連携の考え方		25点
ライフサイクルコスト等の低減、コンパクトな施設建設、環境負荷軽減の考え方		15点
プレゼンテーション・ヒアリングについて		20点
見積額について		5点

(4) 一次選考について

一次選考は、採点方式を採用することとし、二次選考に進む5者程度を選考することとしました。

一次選考通過者名は一次選考終了後、市ホームページ等で公表することとしました。

(5) 二次選考について

ア 各技術提案テーマの配点

下表のとおり各提案テーマそれぞれに評価点を設定しました。

イ 市民に開かれた選考プロセスとするため、プレゼンテーション及びヒアリング

を公開で行うこととしました。また、プレゼンテーション及びヒアリングでは、社名等を公開して行うこととしました。

ウ 一次選考通過者の技術提案書を公開プレゼンテーションの会場内に展示することとしました。

エ 事業候補者及び次点者の選考

選考等委員の評価点の合計点が最も高い者を事業候補者、第2位の者を事業候補次点者とする事としました。なお、同点の場合は、選考等委員の多数決により事業候補者及び事業候補次点者を選考することとしました。

3 選考

(1) 一次選考

参加表明書の提出期限までに、6者から参加表明書が提出されました。その後、参加表明者からの質問に対する回答を行い、選考書類の受付期限までに、5者から選考書類が提出されました。

第2回選考等委員会において、一次選考を実施した結果、次の5者を一次選考通過者としてしました。

一次選考通過者（受付番号順）

- ① 大建設計・雄建築事務所 共同企業体
- ② 株式会社 安井建築設計事務所 東京事務所
- ③ 株式会社 佐藤総合計画
- ⑤ 株式会社 遠藤克彦建築研究所
- ⑥ 株式会社 横河建築設計事務所

(2) 二次選考

第3回選考等委員会では、多くの市民の皆様が参加する中、各者からの技術提案に基づくプレゼンテーション及びヒアリングが行われ、その後の審査において、事業候補者及び事業候補次点者を選考しました。

選考結果

一次選考通過者名	評価点合計点（700点満点）
〇〇設計事務所（事業候補者）	700点
〇〇設計事務所（事業候補次点者）	650点
〇〇設計事務所	600点
〇〇設計事務所	550点
〇〇設計事務所	500点

4 審査講評

(1) 事業候補者

(2) 事業候補次点者

(3) 以下、順不同

平成31年3月〇〇日

小金井市新庁舎・（仮称）新福祉会館建設基本設計業務委託事業者選考等委員会

委員長